(10mm程度あける)

表題：

英数字が入る場合は半角

著者名：

英字の場合は「Times new　Roman 12pt」

表題（ゴシック20pt）

（15mm程度あける）

著者情報：

学生の場合は執筆時の学年

高専　太郎1・学会　次郎2(明朝12pt)・John SMITH3

（5mm程度あける）

1○○工業高等専門学校　○○工学科○年（〒745-8585 ○○県○○市山川1-1）（明朝9pt）

E-mail:kosen@tokuyama.ac.jp (Times New Roman 9pt)

2○○株式会社　技術開発部（〒135-8585 ○○県○○市隅田3-15-6）

E-mail:gosen@nanojact.co.jp

3Member of JACT, JACT Corp.

john@kosen-jact.com

（10mm程度あける）

1.文書レイアウト（ゴシック11pｔ）

（節見出しの前は1行あける）

(1)余白

上：19mm，左：20mm，

右：20mm，下：24mmとします．

(2)ページ数，文字数等

原稿は原則として和文とし，特別の場合を除き横書きとします．なお，本文中の句読点は，「，」，「．」に統一して下さい．

a)ページ数

6ページ以内を原則とします．

b)文字数等

1ページの文字数は，22字\*48行\*2段）を基本とします．

（章見出しの前は2行あける）

2.表題等

(1)表題

フォントは，ゴシック体20ptとします．英数字の場合は，半角文字を使って下さい．

(2)著者名

名前は，全角空白で区切って下さい．複数著者の場合で所属が異なる場合はそれぞれ名前の後ろに上付数字を付記して下さい．

フォントは明朝体12ptとします．英字の場合はTimes New Romanとし，ファーストネームは初字は大文字，ラストネームは全て大文字として下さい．

(3)著者情報

所属機関名，学科（学生の場合は執筆時の学年も），郵便番号，住所，電子メールアドレスを示して下さい．

フォントは明朝体9ptとします．英字の場合はTimes New Romanとして下さい．

3.本文等

(1)見出しのレベル

原則として章，節，項の3段階として下さい．

・章の見出しはゴシック体11pt

・節の見出しはゴシック体11pt

・項の見出しはゴシック体10pt

(2)章，節の見出しの前には空行

章の前には2行，後には1行の空行，節の前には1行の空行を入れて下さい．

(3)項の連番

項の連番は，「a」から始めて下さい．

(4)本文

見出し以外のフォントは明朝体10ptとします．英数字の場合は，Times New Roman 10ptとして下さい．

a)本文中での図，表の言及

本文中で図や表に言及する場合は，図-1，表-1のようにゴシック体として下さい．

4.図（写真含む），表

写真は図として扱って下さい．

図のキャプションは図の下に，表のキャプションは上に書いて下さい．また，図，表の前後は1行あけて下さい．

（1行あける）

「図-1」の記載はゴシック体9pt．キャプションは，明朝体

**図-1** キャプション

（1行あける）

**表-1** キャプション

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |

5.数式

数式は中央に書いて，右端に式番号を（1），（1a）のように入れて下さい．

6.謝辞，付録，参考文献

章，節，項の見出しをつける必要はありません．次の書式を例に記述して下さい．なお，各項目の前には1行空行を入れて下さい．

（1行あける）

謝辞：「ゴシック体10pt」で「謝辞：」と記述のあと，「明朝10pt」で記述して下さい．

（1行あける）

付録

付録は，謝辞と参考文献の間において下さい．なお，見出しの前に1行空行を入れて下さい．

（1行あける）

参考文献

1）「MS ゴシック10pt」で「参考文献」と記述し，次の行から番号を付記して「明朝9pt」で記述して下さい．英数字については，「Times New Roman」とします．

2）本文中では，出現順に上付き数字で番号1)を付して下さい．

3）書籍については，『』でくくって下さい．

4）高専太郎，高専次郎：『高専物理学』，pp.35-40，岩波書店，1980．

5）Shepard，F．P．, Inman，D．L．and Sirlin，C.：Nearshone Water Circulation, Trans．AGU．，Vol.31，No.2，1990．

（平成24年12月改定）